

職員交流ランチ会を開催しました！

今回、初めての取組みとして法人職員全員を対象とした職員交流ランチ会を令和6年2月4日に大阪ななばで開催いたしました。

当日は、約200人の職員が参加し、会場のあちこちを職員が行き交い、「久しぶり」、「はじめまして」、「そうそう、あの話の続き…」など会話を弾ませていました。

職員の慰労も兼ねた企画でしたが、この交流会が縦の関係性だけでなく、組織の枠を超えて横のつながりをより強くする、そんなきっかけのひとつになるように思いました。これからもこのランチ会が職員交流の場として発展的に提供できるよう企画していきます。



事業団中長期計画の進捗について

第1期事業団中長期計画に基づく、令和5年度の主な取組みについてご紹介いたします。

(1)法人経営

①経営理念、運営方針等の明確化

法人の存在意義を明確にした、時代にふさわしい法人理念などについて検討するため、プロジェクトチームを立ち上げ、理念、運営方針、職員倫理綱領の見直し、職員行動規範の策定、理念などの職員への浸透策等について検討するとともに、基礎研修資料を改訂しました。

②次世代の育成

人材マネジメント委員会において、「キャリアパス」の明確化、「研修計画」の体系化、「OJT」の標準化の3項目を柱に、これらが一体となり自分自身のキャリアアップを具体的にイメージすることができる育成体系の検討を行い「大阪府障害者福祉事業団人材育成システム(案)」を作成しました。

(2)利用者支援

ICT等の活用による生産性の向上

ICT化推進プロジェクトチームを立ち上げ、支援現場の負担軽減と業務効率化のため、見守り検知システム、ナースコールなどの介護機器と連動する記録システムについて検討しました。また、業務効率化とペーパーレス化推進のため給与明細をWebで配付、閲覧できる「Web明細」を令和6年1月から導入しました。

(3)人材育成

①採用、定着と育成の取組み

人材マネジメント委員会を設置し、求める人物像を明確にした「人材育成基本方針」を策定するとともに、これまで試行的に実施してきたメンター制度について本格実施するために「メンター制度実施要綱」を作成しました。

また、人材マネジメント委員会の下に基本方針、人材確保、採用計画、人材育成、人材定着、広報の6つのワーキンググループを組織し、それぞれ課題の洗い出しと、その課題解消に向けた具体的な方策について検討を行いました。

②こころ福祉センターの職員確保

令和5年6月に河内長野駅とこころ福祉センターを結ぶバス路線の開通が実現し、アクセスが向上しました。

また、河内長野駅構内に、こころ福祉センターの広告看板を設置しました。

(4)地域貢献

地域連携・事業所資源の活用

各事業所において、地域の祭りへの参加、事業所の敷地や資源を開放しての地域の行事などの実施や小学校の福祉教育への職員派遣を行う等地域との連携やニーズに応じた取組みを進めました。

令和5年度決算報告

令和5年度の減価償却後の⑤当期資金収支差額合計(経常活動分)は2億9千万余円となりました。

必要な積立を行ったうえで黒字となり、安定した運営ができています。

今後も安定した経営基盤を維持しつつ、中長期計画に基づき法人の発展に努めてまいります。

【令和5年度 資金収支計算書】(単位:千円)

勘定科目	法人合計	／(A)
障害福祉サービス等事業収入	4,661,601	66.5
医療事業収入	910,713	13.0
介護保険事業収入	551,588	7.9
運営委託料収入	388,838	5.5
児童福祉事業収入	253,258	3.6
その他事業収入	153,040	2.2
就労支援事業収入	24,405	0.3
その他の収入	67,102	1.0
事業活動収入計(A)	7,010,545	100
人件費支出	4,710,177	67.2
事業費支出	903,923	12.9
事務費支出	622,455	8.9
その他の支出	43,218	0.6
事業活動支出計(B)	6,279,773	89.6
①事業活動資金収支差額(A)-(B)	730,772	10.4
施設整備等収入計	670	
施設整備等支出計	190,548	
②施設整備等資金収支差額	△189,878	
その他の活動収入計	540,849	
その他の活動支出計	1,186,819	
うち夏季一時金の財源として	(131,968)	※1
うち⑤支払資金残高からの積立として	(270,795)	※2
③その他の活動資金収支差額	△645,970	
④当期資金収支差額合計	△105,076	①+②+③
夏季一時金への拠出	131,968	※1の再掲
積立資産への拠出	270,795	※2の再掲
⑤当期資金収支差額合計(経常活動分)	297,687	④+※1+※2
⑥前期末支払資金残高	1,361,445	
⑦当期末支払資金残高	1,256,369	④+⑥



Welcome to SFJ!

お天気に恵まれた令和6年4月1日、新たな仲間を乗せたバスがこんごう福祉センター前に到着しました。内定者懇親会などで既に何度か顔を合わせていたこともあってか、集合場所となる多目的ホールへ向かう道中の雰囲気は和やかなものでした。緊張の採用辞令交付式が終了し、34人の新人職員を大阪府障害者福祉事業団の一員として新たに迎えることができました。

続く新人職員研修では、2日間にわたって福祉制度や支援の基礎、法人概要や社会人としての基礎知識などを学びました。名刺交換の練習も行い、慣れない手つきで、「大阪府障害者福祉事業団」と書かれた名刺を持って自己紹介の様子を見て、本当に嬉しい気持ちになりました。

最後は、チームで協力しながらこんごう福祉センター内の施設を回るウォークラリーや、懇親を目的としたBBQで締めくくられました。同期間の繋がりもより強くなり、今後の励みになったのではないのでしょうか。

これから共に、より良い法人を創っていくことが楽しみです。



日本へようこそ!

新緑が眩しい5月中旬、2人の特定技能外国人が来日し、特別養護老人ホームかんなびのさとに配属されました。彼らの故郷は関西国際空港から飛行機で約8時間、インドネシア南部のバリ島です。

彼らは、特定技能外国人としての入国要件である日本語能力試験N4相当以上に合格するため、インドネシア政府公認の日本語教育機関で日本語と介護技術を学んできました。昨年11月に法人職員が現地で面接を行い、2人の採用を決定しました。

入国までの間、オンラインでの事前ガイダンスやコミュニケーションを実施しながら並行して、かんなびのさとでは、彼らが入国して直ぐに生活出来るよう、家電や家具、衣類など日用品の寄付を募り、また受け入れ先ユニットでは、彼らが理解しやすいように書類にルビを付けたり、OJTを行うための準備をすすめてきました。



初対面の日、長旅の疲れとこれから始まる慣れない環境への不安と緊張を抱え、やってくるであろう彼らに歓迎の気持ちを伝えたいと、かんなびのさと玄関にはウェルカムボードと、利用者・職員が集まり、たくさんの笑顔でお迎えしました。

2人は、毎日手作りのお弁当を手に出勤し、時には戸惑いの表情を浮かべながらも「一番楽しいことは?」と尋ねられると笑顔で口をそろえ「利用者とのコミュニケーション!」と答えてくれています。

2人にとって、ここが第2の故郷となって欲しいと思います。



「ブランディングプロジェクト」始めました!

ブランディングプロジェクトについて

「社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団」は、今年で設立55周年を迎えます。

大阪府立金剛コロニーの運営から始まった当法人は、多くの職員に支えられ、今日に至っています。

この間、福祉業界を取り巻く環境は時代と共に変わり、福祉事業を行う運営団体の多様化や事業所の増加、少子高齢化などさまざまな要因で人材不足の問題に直面しています。当法人も例外ではなく、令和5年3月に策定された「第1期事業団中長期計画」において、「人材確保」を法人の最重要課題として位置づけ、その取組みを強化することとなっています。



令和6年4月、「ブランディングプロジェクト」は、このような課題にアプローチするために立ち上がりました。ブランディングとは、「法人の強みや価値などを明確にし、それらを社内外に発信し、浸透させること」です。当法人はこのプロジェクトをより一層効果的にし、かつ戦略的に進行するため、外部パートナーを迎え入れ、共に、当法人の魅力や強みの抽出、提供価値の整理、それを踏まえたブランドコンセプトの立案、広報戦略の策定、多様なツールの制作などに取り組むことにしました。

「どこでもない、ここしかない、ここで働きたい」と思ってもらえるようなブランドを築くことで「今以上」に選ばれる法人になれるよう、このプロジェクトに全力で取り組んで参ります。



ソーシャルアクション企画を考えるワークショップを開催



現在は、当法人の「魅力や強み・提供価値の整理」を進めており、その一環として、役員、施設長、所属長へのインタビューや若手・中堅職員へのインタビュー、金剛コロニー時代を知るOBの座談会を実施してきました。そして、5月9日には、グランフロント大阪で、職員・内定者・近隣の大阪芸術大学の有志の学生、

総勢50人が一堂に会するワークショップを開催しました。

ワークショップではまず、外部パートナーによるレクチャーがあり、その後、各事業所、エリアにある地域資源を活用し、障害者福祉の魅力や地域の人たちに伝えるソーシャルアクション企画を考えるグループワークを行いました。



初対面の参加者も多い中、どのグループも終始、笑い声が絶えないほど盛り上がり、多様な視点からの意見交換が活発に行われました。

8月にはブランド戦略をまとめ、10月にはWEBサイトやパンフレット等の広報ツールを全面改訂する予定です。ご期待ください!

